

平成29年度事業報告書

特定非営利活動法人 藤沢ラグビー蹴球倶楽部

1. 事業の成果

(1) 総括

当倶楽部の活動は特定非営利活動に係る事業に限定され、営利活動は行っていない。特定非営利活動に係る当倶楽部の平成29年度事業活動について、以下の通り報告する。

当倶楽部の事業内容は、定款第5条に規定されているように、1) ジュニアラグビースクールの運営、2) ラグビークラブチームの育成・指導に係る事業、3) ラグビーフットボールおよびその他スポーツ競技の振興・普及に係る事業、4) 他の競技団体との協力・交流による競技者の能力向上及び育成に係る事業、5) その他倶楽部目的を達成するために必要な事業となっている。また、神奈川県から「総合型地域スポーツクラブ」として承認を得、今後も、ラグビーフットボールを中心としながらもその他のスポーツ競技の振興・普及に係る事業にも取り組み、生涯スポーツおよび地域スポーツの発展に貢献していく。これらの事業全般につき、平成29年度は会員や関係者の献身的な活動により、下記の通りの活動を行った。

1) ジュニアラグビースクールの運営

ラグビースクール（藤沢ラグビースクール）は、生徒数293名、登録指導員数67名にて運営し、神奈川県下でも有数の生徒数を抱えるラグビースクールである。毎週1回（小3以上は2回）の練習を定期的実施するとともに8月には富士緑の休暇村での合宿を行うなど、ラグビーを通じて青少年の指導・育成を行った。また、秋の県大会には小3～中学までのチームが参加し、県内のラグビーチームとの交流試合を行い、各学年とも所定の成果をあげた。

2) ラグビークラブチームの育成・指導に係る事業

神奈川県ラグビーフットボール協会に所属するトップチーム（湘南プレイボーイズ）は、毎週1回定期的に練習を行った。東日本トップクラブリーグに参戦し、各都道県を代表するクラブチームとリーグ戦を行った。

タッチラグビーチーム（湘南グラスボーイズ&G）は毎週1回定期的な練習を行うとともに、地方大会や日本選手権に継続して参加するなど、活発な活動を行っている。毎年秋に開催される全日本タッチ選手権において、プレート優勝の結果を残した。チーム強化を目的とした8月と12月の関東チーム交流戦は、毎回参加者が100名を超える大会となった。また、静岡大会ではエンジョイ優勝、エキサイトティング5位を獲得しており、学生チームには及ばないが、シニアメンバー中心では最高順位となった。さらに、海外チーム受け入れも行っており、6月には香港教育大学を招き素晴らしいメンバーで交流戦を実施した。タッチラグビーについては、広い年齢層と一緒に楽しめるスポーツとして、地域スポーツの振興に寄与している。

シニアチームについては、定期的に練習するとともに、藤沢マスターズ大会等へ継続して参加している。

3) ラグビーフットボールおよびその他スポーツ競技の振興・普及に係る事業

藤沢市ラグビーフットボール協会との協力のもと、藤沢ラグビーフェスティバルや藤沢市民大会への

参加、中学生の高校ラグビーフェスティバルの参加等を行ったほか、未経験の子供を対象にしたラグビー教室を開催した。また、湘南プレイボーイズは県下の高校ラグビー部に出向き合同練習や技術指導を行った。

タッチラグビーは、J T Aコーチングレベルを取得したメンバーが、宮城県でタッチラグビーの普及を行い、また、神奈川県下の高校と一緒に練習するなど、タッチの振興・普及に努めた。

スポーツ吹矢（歩楽吹倶楽部）は定例の練習を行ったほか、スポーツ吹矢の体験会を5月に実施した。また、藤沢市と慶應義塾大学スポーツ医学研究センターが実施している「ふじさわプラス・テン」プロジェクトへ参画した。

4) 他の競技団体との協力・交流による競技者の能力向上及び育成に係わる事業

ラグビースクールにおいては、6月に中学生が高校ラグビー部フェスティバルへ参加したほか、辻堂海浜公園子供駅伝大会に参加するなど、他の競技スポーツ団体とともにスポーツ能力向上を図った。

また、東海大学と協力した「走り方教室」の開催、横浜市体育協会のスポーツ人材の養成・育成事業への協力など、総合型地域スポーツクラブとして活動の幅を広げた。

5) その他倶楽部目的を達成するために必要な事業

地域活動として、ラグビーフェスティバルの開催、辻堂砂山市民の家の児童館祭りへの参加等を通じ、地域との交流を深めたほか、地域の清掃活動を実施している。

そのほか、当倶楽部の運営に当たっては、以下の各部会を組織し、倶楽部事業の充実、倶楽部会員の利益拡大につながる諸施策を各委員会が中心となって推進している。

- ① 企画調整部会：各施策のとりまとめ、各部会推進事項の相互調整を行う。ラグビーフェスティバルのチラシに地域活動の広告紹介を行う試みを、同部会の調整により実施した。
- ② 財務部会：財政基盤強化の施策検討と推進、新会計ソフトの導入による倶楽部経理処理の事務平準化やインターネットバンキング活用による現金取り扱いリスクの低減など、資金・経理事務の改善を図っている。
- ③ 施設部会：クラブハウスの建替えの検討、辻堂海浜公園多目的グラウンドの人工芝化など施設の充実の検討及び推進を行う。
- ④ 広報部会：HPの運営、倶楽部会員増大を目的としたリクルート活動、倶楽部のPR活動、倶楽部会報誌の計画的発行を行う。
- ⑤ 地域活動部会：地域貢献ボランティア清掃など具体的活動の検討と推進を行う。
- ⑥ グラウンド等活動施設部会：日頃使用するグラウンドの確保と利用機会の拡大を図る。

これらの活動に加えて、より公益的な団体として責任ある活動を推進・発展させていくために、昨年12月に「認定NPO」の申請を行ったほか、2020年にラグビースクール創設50周年（倶楽部法人化20周年）を迎えることから、実行委員会を立ち上げ大きな節目となる記念事業の準備をスタートした。

そのほか、当倶楽部の活動への理解・協力という点で、一昨年度からNOK株式会社が協賛企業となっているが、今般かながわ信用金庫も法人賛助会員として支援・協力していただけることとなった。

今後も引き続き、倶楽部会員内外の協力を求め、各部会のメンバーの充実を図り、事業の継続、発展に資するよう積極的な運営を行っていく。

(2) 活動概要

1) ジュニアラグビースクールの運営

ラグビースクールにおける指導方針については、1月に指導員総会を開催し、指導方針の指導実施項目として昨年に引き続き、①共通目標の理解・一元化 ②年間練習計画の立案 ③月次・日々の練習計画のコーチ間における認識の一元化 ④練習成果の把握・レビューの実施 ⑤ミルキー～ミニ～ジュニアのパスウェイの見直し再確認という基本方針を通じて、チーム力をつける指導を引き続き推進した。そして「シンプル、反復、強弱、理解」をスローガンに掲げ指導に臨んだ。

指導体制は昨年に引き続き、スクール校長の下に、ジュニアクラス（中1、中2～3）、ミニクラス（小3～4、小5～6）、ミルキークラス（幼～小2）の各学年にヘッドと指導員とを配置し、学年間での指導交流や合同練習をできる体制とした。また、ミルキークラスについては、協力していただける生徒の父母に「ミルキー応援団」になってもらい、ミルキーの活動をサポートする体制とした。

コーチ養成については、県協会主催のスタートコーチ研修会やレフェリー講習会に積極的に参加し、各々資格取得にチャレンジしている。7月31日には安全講習会で事故防止を中心に指導員研修会を開催し、多数の指導員が参加した。

ラグビースクールの活動については、4月17日の入校式以降、毎日曜日の午前中をラグビーの指導・練習日とし、小学3年生以上は土曜日にも練習日とした。その他にも競技能力の向上に向け、5月3日～5日には中学生と小6の春合宿を実施するとともに、7月28日～30日には例年通り中学生が菅平ジャンボリーに参加して各県チームと試合を行った。また、8月11日～14日には恒例の夏合宿を、山梨県富士緑の休暇村で実施した。夏合宿には小学3年生以上の生徒、指導員、OB、父母が参加し、厳しい練習と、隣り合う学年同士の試合、中学AチームとOBを中心としたチームとの試合等を通じて、ラグーマンとしての大きな成長を遂げるとともに、各学年を超えた班編成による共同生活を体験することにより、上級生は指導力を、下級生は協調性を身につける大きな機会となった。

9月からは小学校3年生以上は秋の県大会に臨み、小学生は12チーム、中学生はAチーム、Bチームと中1チームとで参加した。小学生のうち、小6以下の2チームが優勝を果たし、他の学年、チームもそれぞれに成長の跡を見せてくれた。中学生は、Aチーム（中3～2）は2位という結果となったほか、12月に近鉄花園ラグビー場等で開催された全国ジュニア・ラグビーフットボール大会に神奈川県スクール選抜として選手3名が参加した。

また、幼児～小2からなるミルキークラスも、県内各スクール主催の交流大会や県協会主催のミルキーフェスタに積極的に参加したほか、2月12日には「第1回湘南カップ」を開催し8スクールを招いて交流を図った。

2月17～18日には、昨年に引き続き神奈川県協会主催の第7回ミニラグビーファイナルカップが開催された。これはミニラグビーの集大成である小学校6年生チームを対象に、県内15チーム、県外7チームのラグビースクールの最強チームを決定するトーナメント大会で、プレート準優勝となった。

なお、小6女子生徒14名（藤沢7名、川崎4名、東北3名の混成チーム）が大坂会場となったヒーローズカップ本戦に招かれ、女子チームの大坂、神戸、東京の3チームとの交流戦で全勝し、女子チームとしての遠征に全員で楽しんだ。

さらに、3月4日にはラグビースクール卒業式を行い、第42期生23名の中学3年生が巣立っていった。

2) ラグビークラブチームの育成・指導に係る事業

神奈川県ラグビーフットボール協会に所属するトップチームは、ラグビースクールOBを中心としたチームであるが、全国クラブラグビー大会へ出場し、クラブ選手権を制覇することを究極の目標としており、仕事や子育てに追われる一方で週末に練習を重ねている。従来はラグビースクールOBが主体で

あったが、リクルート活動の成果もあり、スクールOB以外のラグビー経験者やトップリーグ経験者の加入によって選手層に厚みが増し、かつチームプレーの徹底とコンビネーションの意識統一や個々の技術スキルの向上を図ってきた。また、様々なカテゴリーのチームが参加する県下、県外を問わず各セブンス大会にも積極的に参加し、15人制と異なるランニングスキルの向上を図った。今年度は、東日本トップクラブリーグにおいて、各都道府県を代表するクラブチームとリーグ戦を行ったが、全国のトップクラス強豪クラブが多いだけに1勝4敗と2シーズン連続での負け越しとなった。

タッチラグビーチームは、広い範囲に活動を周知することを目的としたフェイスブックを活用し、藤沢市外からもメンバーが増加している。活動範囲は神奈川県他チームとの交流、関東近県の交流大会を開催(湘南大会)するなど、活性化している。日本代表を目指すメンバーの活動も始まっており、二年後のワールドカップ日本代表選考セレクションに6名のメンバーが参加、更に国際レフリーを取得したメンバー(日本では最高位取得)が日本帯同レフリーとしてエントリーしている。日々の活動としては、毎週土曜日に定期練習があり、ラグビースクールOBの新規入会もあり、活性化している。各地のタッチ大会に積極的に参加し、本年度も優秀な成績を収めた。

シニアチームは、定期的に練習を行うとともに、春秋の藤沢マスターズや藤沢市民大会、更に海老名他のマスターズ大会に積極的に参加した。また他ラグビースクールのシニアチームとの交流も積極的に行った。40才以上の指導員とタッチメンバーで構成されているが、若手の指導員も参加してメンバーが増加しつつある。

女子チーム(湘南スプリンガーズ)のチーム編成は出来なかったが、女子部会や女子委員会行事に積極的に参加した。11月には関東ラグビーフットボール協会主催のガールズフェスティバル(熊谷ラグビー場、女子小学生が参加)等に参加することにより、各地の女子選手との交流を深めた。

3) ラグビーフットボールおよびその他スポーツ競技の振興・普及に係る事業

本年度も藤沢市ラグビーフットボール協会、神奈川県ラグビーフットボール協会、関東ラグビーフットボール協会等の主催するラグビーの振興と普及を図る活動に、積極的に参加、協力を行った。

藤沢市ラグビーフットボール協会の主催する第36回藤沢市ラグビーフェスティバルが7月15日に秋葉台グラウンドで、9月9日には第37回藤沢市民大会が秋葉台グラウンドで開催され、当倶楽部からはラグビースクールの全学年が参加した。また、12月23日には大和運動公園にて神奈川県ラグビーフットボール協会主催の運動会が開催された。3月11日に開催したラグビーフェスティバルでは、田園ラグビースクールを招待するとともに未体験者を対象としたラグビー教室を開催した。

トップチームは、ジュニアクラス(中1、中2~3)への練習相手や湘南工科大学付属高校など高校へ出向き、練習相手や技術指導を行った。シーズン序盤である1月から6月においては、積極的に県外のチームと練習試合を行うなど、交流・振興を図った。

タッチラグビーチームは、主催する大会は例年通り実施した。また、定期的に行われる宮城県でのタッチ練習会に講師派遣など、タッチの振興・普及に努めた。

また、12月には神奈川県ラグビーフットボール協会より、当倶楽部から4名が永年にわたるラグビーの普及貢献に関わる功労賞が授与された。

スポーツ吹矢については、現在の会員は68~81歳で女性7人、男性6人の計13名が在籍している。練習は8月を除き毎月2~4回辻堂砂山市民の家で年間38回実施し、延べ431人が参加した。地域とのつながりと会員増を目的に5月27日にスポーツ吹矢体験会を実施したが参加者が5名と少なかったが、体験者1名が本会員となった。また、藤沢市と慶應義塾大学スポーツ医学研究センターが運動と認知機能を週1回以上活動している60歳以上のグループを対象に進めている「ふじさわプラス・

テン」(10分でも身体を長く動かそうをキーワードに多角的に身体運動促進の取り組み)に、歩楽吹俱樂部も2年間参加している。今年も認知症チェック及び体力測定(筋力、敏捷性、柔軟性、平行感覚)を初回、6ヶ月後、1年後の3回実施し、それぞれの健康チェックの間には活動計1週間の装着とプラス・テン体操の実施記録を提出し、一年後の成果を評価した。また、このプロジェクトに参加している市内10団体のグループとの交流会も実施された。

4) 他の競技団体との協力・交流による競技者の能力向上及び育成に係る事業

ラグビースクールにおいては、6月に中学生が高校ラグビー部フェスティバルへ参加したほか、恒例となる辻堂海浜公園を利用する団体による子供駅伝大会へ参加した。また、初の試みとして東海大学陸上競技部の協力を得てスクール生徒を対象とした「走り方教室」を3回開催し、他競技団体と共に競技能力の向上を図った。さらに、藤沢市ライオンズクラブの創立55周年記念事業として同クラブの奉仕活動と当俱樂部スクール事業のマッチングにより、県内8ラグビースクールによるミルキークラスの交流大会を行った。

さらに、8月には公益財団法人横浜市体育協会からの要請により、「アシスタントマネージャー資格養成講座」の市外総合型地域スポーツクラブの活動紹介として当クラブが参加し、同協会のスポーツ人材の養成・育成事業に協力した。さらに神奈川県スポーツ局が主催するラグビーワールドカップ2019™大会チケット開催都市住民先行抽選販売記念イベントに協力し、来年開催されるワールドカップの盛り上げに寄与した。このほか、毎年藤沢鵠沼海岸で行われる日本ライフセービング協会の全日本選手権への来賓参加も例年通り行い、他の競技団体との交流活動を行った。

以上のように、多くの活動を推進することにより、総合型地域スポーツクラブとしての存在意義を高めることができた。

5) その他スポーツを通じた地域活動

毎年恒例のラグビーフェスティバルを3月11日に開催した。本フェスティバルは、地域住民との交流やラグビーフットボールへの理解を深めることに効果があり、地域住民の参加者も多く、参加者の中から、ラグビースクールへの入校者も出て、ラグビーフットボールの振興普及に対して有効であるため、今後も継続して実施して行く。また、12月には地域交流の一環として辻堂砂山市民の家児童館祭に参加し、スクール生徒による幼児への工作指導や焼きそば出店等の活動を行い、辻堂地区住民との交流を深めた。

6) NPO法人としての社会貢献活動や安全対策強化

平成12年にNPO法人化して以降、特定非営利活動法人格を持つラグビーチームとして、社会貢献活動への協力についても模索し、海岸清掃活動等を適宜実施した。

また、「乳がんの早期発見及び乳がん検診の啓発運動(ピンクリボン運動)」を推進しているNPO法人J. POSHの活動に協賛し、俱樂部としてピンクリボン運動のロゴマークをジャージに貼付する等、活動を継続している。

その他、安全対策の強化として、俱樂部としてAED(半自動除細動器)を購入し、心停止状態発生の緊急事態に備え、活動中常備することとした。

7) 広報活動の強化

昨年、当俱樂部のホームページをリニューアルし、各ディビジョンの活動報告を随時展開しているが、

各方面からの反響が強く、特に我々の活動へ参加を希望する方々からの問い合わせが多数寄せられている。今後も「スポンサー企業様への活動報告ツール」、「在籍する正会員やOB・OGへの情報発信ならびに活動報告ツール」としての側面もあわせ、活動を内外にアピールしていく。

ラグビースクール・トップチーム・タッチラグビーの各活動において着用するビブスにスポンサー企業名を入れ活用しているほか、神奈川県ラグビーフットボール協会・各自治体関係をはじめとするラグビー各イベントや広報紙へ倶楽部の広告を掲載し、活動をアピールしている。

また、ラグビースクールは、ホームページおよびSNS（フェイスブック）により活動報告を行ってきたが、今年度よりラグビーフェスティバルチラシに協賛企業名を掲載し当日はブースも出店し活動を盛り上げた。トップチームでは、ホームページのほかSNS（フェイスブック）を活用し、チーム広報やリクルート活動を行い成果が出ている。タッチラグビーチームもフェイスブックをホームページとして活用し、チーム広報やリクルート活動に生かすとともに、他チームとの交流も図っている。スポーツ吹矢も、藤沢市と慶應義塾大学スポーツ医学研究センターが実施している「ふじさわプラス・テン」プロジェクトへ参画し、活動の領域を広げている。

(3) 本年度会員数、各事業登録者数

以上の活動を支える当倶楽部の会員数は、平成30年3月末時点で下記となっている。

正会員	141名
個人賛助会員	32名
法人会員	3社

また、各事業活動の登録者数は下記の通りである。

ラグビースクール：	生徒数	293名
	指導員数	67名
トップチーム	：	32名
タッチチーム	：	29名
シニアチーム	：	40名
女子チーム	：	0名
スポーツ吹矢	：	13名

以上

2. 事業内容

(特定非営利活動に係る事業)

事業名	事業計画	実施日時	実施場所	従事実人数	受益対象者 範囲と人数	支出額 (千円)	活動実績と結果
1. ジュニアラグビースクールの運営(定款第5条第1号に係る事業)	1. 地域における4歳から18歳までの少年、少女を対象としたラグビーの技術的・精神的指導 2. 中学菅平ジャポリー 3. 夏合宿練習 4. 秋田市ラグビー少年クラブとの交流 5. 湘南カップなど他スクールとの交流大会参加 6. 中学3年生卒業式 7. コーチ、レフェリー、メディカルサポーター等指導監督者の育成プログラムへの参加 8. C級レフェリー資格試験	毎日曜日 小5以上は土曜日も実施 7月 8月 1月 4~3月 3月 随時 3月	辻堂海浜公園 秋葉台球技場ほか 菅平高原 山梨県 富士緑の休暇村 藤沢市 神奈川県内 藤沢市 神奈川県内 藤沢市 神奈川県内	67名 10名 67名 10名 67名 67名 67名 5名	4歳~15歳 約300名 中学生 70名 小3~中3 約200名 小4、小5、小6 約80名 幼児~中3 約300名 中3 25名 67名 5名	登録 426 用具1,045 グッズ 43 保険 541 2,126 7,313 872 389	1. 計画通り実施し、初期目的を達成した H29.4~H30.3(除く8月) 計46回開校 2. 菅平ジャポリーに参加 3. 計画通り実施し、初期の目的を達成した 4. 神奈川県ラグビースクール秋季大会等に参加した
2. ラグビークラブチームの育成指導に係る事業(定款第5条第2号に係る事業)	1. トップチームの育成指導 セブンス大会 東日本トップクラブリーグ 2. タッチラグビーチームの育成指導 3. シニアチームの育成指導 交流試合 4. 女子チームの育成指導 第11回ガールズフェスティバル	毎日曜日 4月~8月 秋 毎土曜日 隔週日曜日 9月~2月 11月	秋葉台球技場ほか 東京都ほか 茨城県ほか 辻堂海浜公園 辻堂海浜公園 善行グラウンドほか 埼玉県	45名 30名 45名 45名 40名 2名	成人男子45名 30名 45名 45名 40名 5名	1,009 250 50	トップチームは新規メンバーの強化を図り、東日本トップクラブリーグ、各大会参加 一般市民の参加があり、コンタクトを最小限にしたニュースポーツとして定着している。コンペティション、エンジョイのどちらのレベルでも参加できる楽しい時間を作っている。 3. 年間を通じ試合実施 4. 関東連盟主催の講習会やガールズフェスティバルに参加
3. ラグビーフットボールおよびその他スポーツ競技の振興普及に係る事業(定款第5条第3号に係る事業)	1. 藤沢ラグビーフェスティバルへの参加 2. 藤沢市民大会 3. ラグビーフェスティバルの開催 4. ラグビースクール交歓運動会 5. ラグビー教室の開催 6. タッチチーム 静岡遠征 神奈川県ラグビーフェスティバル(タッチ運営) 東京都大会 香港教育大学交流戦 交流大会 第14回湘南大会(エンジョイ) 交流大会 第15回湘南大会(ロンペ) タッチ全日本選手権 交流大会 静岡大会 7. スポーツ吹矢 8. 倶楽部広報紙の発行 9. H.Pの運営 10. 中学3年生卒業文集作成	7月 9月 3月 12月 3月 4月 5月 5月 6月 7月 7月 8月 10月 11月 1月 2月 4月~3月 3月 3月	秋葉台球技場ほか 秋葉台球技場 辻堂海浜公園 大和スポーツセンター 藤沢市 清水ナショナルトレーニングセンター 保土ヶ谷グラウンド 東京ガスグラウンド 汐見台グラウンド 武田薬品工業グラウンド 辻堂海浜公園 秋葉台球技場 引地川親水公園 葛西臨海球技場 辻堂海浜公園 エコパスタジアム 砂山市民の家 倶楽部事務所 倶楽部事務所 倶楽部事務所	67名 67名 67名 67名 67名 10名 15名 9名 20名 11名 40名 15名 15名 11名 18名 10名 13名 4名 1名 4名	約300名 約300名 約500名 約200名 約200名 約40名 約300名 約200名 約70名 約98名 約100名 約50名 約120名 約300名 約60名 約300名 13名 会員、生徒 1名 会員、一般 4名 会員、生徒	125 20 30 15 30 55 28	1. ラグビースクール生徒が参加 2. ラグビースクール生徒、湘南PBが参加 3. ラグビーフェスティバルを開催し、スクール以外の子供達も含め地域との交流を図った 4. 県下全ラグビースクールが参加 5. ラグビーフェスティバルで子供向けラグビー教室を開催 6. 楽しく、強くなるチームづくり 他県のタッチチームと交流を作る 神奈川県ラグビー協会 東京都タッチ協会主催 海外チームにも注目されるチームになったがグラウンドが悪く、その点が欠点 日本トップクラスのチームも参加した有意義なエキサイティング交流大会 今年は静岡県からも参加があり、交流が広がっている。 FWT(東京)湘南PW(藤沢北部チーム)と交流 日体、FWT、富士SUNS、八王子との主催大会 ジャパンタッチ協会主催：プレート優勝 城南J、狛江タッチを招いての交流戦 ジャパンタッチ協会主催：エンジョイ優勝 7. 月4回の活動と競技大会を開催 9. 練習予定日等をアップ 10. 中学3年生および父母、指導員で卒業文集を作成
4. 他の競技団体との協力・交流による競技者の能力向上及び育成に係る事業(定款第5条第4号に係る事業)	1. 高校ラグビー部フェスティバルへの参加 東海大相模高校 法政第二高校 桐蔭学園高校 2. ミルキークラス地引綱 3. 全国ライフセービング協会記念式典への参加 4. 辻堂海浜公園駅伝大会 5. 辻堂砂山の家児童祭りへの参加 6. 地域清掃活動 7. クラブハウス草刈 8. 宮城県タッチ協会支援 7. ピンクリボン運動への参加 8. AEDの常備	6月 6月 10月 2月 12月 4月~3月 8月 3月	各高校グラウンド 藤沢市 藤沢市 辻堂海浜公園 藤沢市 藤沢市 フットメッセ長町	5名 60名 1名 10名 10名 50名 13名 1名	中学生約30名 幼児~小2 約150名 小3~4約50名 20名 50名 17名 約150名	43 57	1. 各高校ラグビー部のフェスティバルに招待され、参加した 2. 近隣のラグビースクールを招いて、海岸での合同練習、地引綱大会を開催 3. 全国ライフセービング協会の全日本大会に理事1名が出席した 4. 辻堂海浜公園駅伝大会に参加し、他のスポーツ団体との交流を図った。 5. 幼児への工作指導と焼きそば出店により、地域との交流を図った 6. 辻堂海浜公園周辺等の地域清掃活動を実施 7. タッチメンバーで草刈実施 8. タッチ普及の一環でタッチ教室を開催の講師 7. ラグビージャージにピンクリボン運動のロゴマークを貼付 8. AEDを常備し、安全面の強化を図っている

決 算 報 告 書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

1. 活動計算書
2. 貸借対照表
3. 財産目録
4. 財務諸表の注記

特定非営利活動法人
藤沢ラグビー蹴球倶楽部

活 動 計 算 書

(自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)

特定非営利活動法人
藤沢ラグビー蹴球倶楽部
(単位：円)

科 目	金 額		備 考
I 経常収益			
1 受取会費・入会金			
正会員受取年会費	2,202,500		
賛助会員(個人)受取会費	99,000		
賛助会員(団体)受取会費	50,000		
受取入会金	28,000	2,379,500	
2 事業収益			
ラグビースクール生徒年会費収入	4,117,500		
スクール夏合宿参加費等収入	7,313,200		
菅平ジャンボリー参加費等収入	2,126,000		
卒業式参加費等収入	508,000		
地域活動事業収益	33,000		
スポーツ吹き矢会費等収入	78,000	14,175,700	
3 受取寄付金			
受取寄付金	2,630,000		
ラグビーグッズ受贈益	99,900	2,729,900	
4 その他収益			
受取利息	493		
雑収益	114,713	115,206	
経常収益計			19,400,306
II 経常費用			
1 事業費			
用具費	1,045,680		
グラウンド使用料	43,850		
スポーツ保険料	541,043		
夏合宿開催費用	7,516,962		
ジャンボリー開催費用	2,190,994		
対外試合費用	528,314		
トップチーム活動費	1,009,574		
チーム育成費	591,957		
コーチ育成費	389,546		
タッチ活動費	345,042		
スポーツ吹き矢活動費	55,545		
ラグビーフェスタ開催他地域交流費	259,169		
卒業式諸費	872,196		
事業費計		15,389,872	
2 管理費			
電力料	34,162		
借地料	451,746		
旅費交通費	128,501		
什器備品費	74,520		
通信運搬費	33,613		
事務消耗品費	307,271		
支払手数料	98,719		
広報活動費	320,742		
会議費	151,890		
慶弔・交際費	209,564		
雑費	60,969		
管理費計		1,871,697	
経常費用計			17,261,569
税引前当期正味財産増減額			2,138,737
法人税、住民税及び事業税			126,400
当期正味財産増減額			2,012,337
前期繰越正味財産額			12,036,891
次期繰越正味財産額			14,049,228

貸 借 対 照 表

平成30年3月31日現在

特定非営利活動法人

藤沢ラグビー蹴球倶楽部

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現 金 預 金	3,911,033		
貯 蔵 品	457,785		
前 払 費 用	41,220		
流 動 資 産 合 計		4,410,038	
2 固 定 資 産			
(1)有形固定資産			
什 器 備 品	3		
(2)投資その他の資産			
定 期 預 金	5,165,587		
倶楽部ハウス修繕費引当預金	3,900,000		
50周年記念事業費引当預金	700,000		
投資その他の資産計	9,765,587		
固 定 資 産 合 計		9,765,590	
資 産 合 計			14,175,628
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未 払 法 人 税 等	126,400		
流 動 負 債 合 計		126,400	
負 債 合 計			126,400
III 正 味 財 産 の 部			
前期繰越正味財産		12,036,891	
当期正味財産増加額		2,012,337	
正味財産合計			14,049,228
負債及び正味財産合計			14,175,628

財 産 目 録

平成30年3月31日現在

特定非営利活動法人

藤沢ラグビー蹴球倶楽部

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現 金 現金手許有高	1,308		
普通預金 横浜銀行辻堂支店 (一般会計)	276,901		
普通預金 かながわ信用金庫藤沢営業部 (一般会計)	1,414,783		
普通預金 かながわ信用金庫藤沢営業部 (50周年記念事業)	1,951,006		
振替貯金 辻堂西郵便局	267,035		
貯蔵品 (頒布用ラグビーグッズ・エンブレム等)	457,785		
前払費用	41,220		
流 動 資 産 合 計		4,410,038	
2 固 定 資 産			
定期預金 かながわ信用金庫藤沢営業部	2,345,998		
定期預金 横浜銀行藤沢中央支店	2,819,589		
特定支出引当預金 (倶楽部ハウス修繕費) 横浜銀行辻堂支店	3,900,000		
特定支出引当預金 (50周年記念事業) 横浜銀行辻堂支店	700,000		
什器備品 (倉庫棚)	1		
什器備品 (救急用AED1台)	1		
什器備品 (タッチ放送設備)	1		
固 定 資 産 合 計		9,765,590	
資 産 合 計			14,175,628
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未払法人税等	126,400		
負 債 合 計		126,400	126,400
正 味 財 産			14,049,228

財務諸表の注記

I. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月13日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
貯蔵品
個別法による原価法を用いています。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
什器備品(20万円以下)については、取得年度において備忘価額1円を残し、全額費用処理しています。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込経理方式によっています。

2. 固定資産の増減内訳

(単位 円)

科目	期首残高	取得	減少	期末残高
有形固定資産				
什器備品 倉庫棚	1	0	0	1
AED	1	0	0	1
ポータル放送設備	1	0	0	1
合計	3	0	0	3

3. 特定資産及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況

(単位 円)

科目	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
特定資産				
シヤージ-制作費引当特定預金	220,000	0	220,000	0
倶楽部バス修繕費引当特定預金	3,900,000	0	0	3,900,000
50周年記念事業費引当特定預金	600,000	100,000	0	700,000
計	4,720,000	100,000	220,000	4,600,000
正味財産繰越勘定	12,036,891	2,012,337	0	14,049,228

以上

平成30年4月21日

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人
藤沢ラグビー蹴球倶楽部
理事長 高橋 陽之助 殿

特定非営利活動法人
藤沢ラグビー蹴球倶楽部

監 事

平井 勝

監 事

依田 秀雄

我々監事は、特定非営利活動法人藤沢ラグビー蹴球倶楽部の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの第18期事業年度に関して、理事の職務執行の状況および事業報告書ならびに決算報告書について監査を行った。

この監査にあたって、我々は、事業記録、決裁書類等の関係書類を閲覧し、また会計帳簿、証憑等の照合を行って検討した。

監査の結果、理事の業務の執行は適正に行われており、かつ、事業報告書ならびに決算報告書は、適正に作成されていることを認める。

前年度指摘した理事会運営の問題点については大幅に改善されたが、未だ理事会出席率に関して不十分な点が見受けられる。この点の改善を要望する。

以 上

平成30年度事業計画書(案)

特定非営利活動法人 藤沢ラグビー蹴球倶楽部

1. 事業活動方針

総合型地域スポーツクラブとして、多くの人にラグビーフットボール等のスポーツに親しむ機会を提供し地域スポーツの振興と普及に寄与するとともに、地域社会貢献活動を積極的に推進する。また、クラブ会員の各活動をサポートするために、施設面の充実、資金面の強化策を具体的に推進する。

2. 事業内容

事業名	事業計画	実施日時	実施場所	従事実人数	受益対象者範囲と人数	事業概要及び支出費用
1. ジュニアラグビースクールの運営(定款第5条第1号に係る事業)	1. 地域における4歳から18歳までの少年、少女を対象としたラグビーの技術的・精神的指導 2. 中学菅平ジャンボリー 3. 夏合宿練習 4. 秋田市ラグビー少年クラブとの交流 5. 湘南カップなど他スクールとの交流大会参加 6. 中学3年生卒業式 7. コーチ、レフェリー、メディカルサポーター等指導監督者の育成プログラムへの参加 8. C級レフェリー資格試験	毎日曜日 小5以上は土曜日 7月 8月 1月 4~3月 3月 随時 3月	辻堂海浜公園 秋葉台球技場ほか 菅平高原 山梨県 富士緑の休暇村 藤沢市 神奈川県内 藤沢市 神奈川県内	約70名 約10名 約50名 約10名 約70名 約70名 約70名 5名	4歳~15歳 約300名 中学生約70名 小3~中3 約200名 小4、小5、小6 約80名 幼児~中3 約300名 中3 25名 約70名 5名	入校式、卒業式費用、登録費、用具費、グラウンド使用料、スポーツ保険、菅平ジャンボリー・夏合宿費用等 11,945,000円
2. ラグビークラブチームの育成指導に係る事業(定款第5条第2号に係る事業)	1. トップチームの育成指導 セブンス大会 神奈川県春季リーグ 団体関東ブロック 東日本トップクラブリーグ 2. タッチラグビーチームの育成指導 東京大会 全日本大会 第15回湘南大会 神奈川大会 全日本大会 静岡大会 3. シニアチームの育成指導 交流試合 4. 女子チームの育成指導 ガールズフェスティバル	毎日曜日 4月~3月 4月~7月 8月 秋 毎土曜日 6月 7月 7月 10月 11月 2月 隔週日曜日 9月~2月 11月	秋葉台球技場ほか 近県 神奈川県内 近県 17都道府県 辻堂海浜公園 東京都 近県 辻堂海浜公園 親水公園 近県 エコパスタジアム 秋葉台球技場 善行グランドほか 埼玉県	約45名 約45名 約45名 数名 約45名 約40名 14名 14名 40名 14名 14名 14名 約25名 数名	約45名 約45名 数名 約45名 約40名 約200名 約300名 約100名 約150名 約300名 約300名 約25名 数名	1. 登録費、用具費、スポーツ保険、大会参加費等 2. 登録費、用具費、スポーツ保険、大会参加費等 3. 藤沢マスターズ等に参加、他ラグビースクールのシニアチームとの合同合宿実施 4. 関東連盟主催の講習会やガールズフェスティバルに参加 3,105,000円
3. ラグビーフットボールおよびその他のスポーツ競技の振興普及に係る事業(定款第5条第3号に係る事業)	1. 藤沢市ラグビーフェスティバルへの参加 2. 藤沢市民大会 3. ラグビーフェスティバルの 4. ラグビースクール交歓運動会 5. はじめてのラグビー 一斉体験会 6. タッチチーム 7. スポーツ吹矢 8. 倶楽部広報紙の発行(広報・普及活動) 9. H P の運営(広報・普及活動) 10. 中学3年生卒業文集作成(広報・普及活動)	6月 9月 3月 12月 4月 3月 4月~3月 7月、1月 3月	秋葉台球技場 秋葉台球技場 辻堂海浜公園 横浜スタジアム 秋葉台球技場 フットメッセ長町 砂山市民の家 倶楽部事務所 倶楽部事務所 倶楽部事務所	約70名 約70名 約70名 約70名 約70名 1名 約15名 数名 1名 数名	約290名 約290名 約500名 約290名 約250名 約150名 約15名 会員、生徒、OB 会員、一般 会員、生徒	1. ラグビースクール生徒が参加 2. ラグビースクール生徒、湘南PBが参加 3. ラグビーフェスティバルを開催し、スクール以外 4. 県下全ラグビースクールが参加 5. 県下ラグビースクールによる子供向けラグビー体験会を開催 6. タッチ普及の一環でタッチ教室を開催の講師 7. 月4回開催 8. 広報紙を2回発行 9. 練習予定日等をアップ 10. 中学3年生および父母、指導員で卒業文集を作成 654,000円
4. 他の競技団体との協力・交流による競技者の能力向上及び育成に係る事業(定款第5条第4号に係る事業)	1. 高校ラグビー部フェスティバルへの参加 2. ミルキークラス地引綱 3. 藤沢市スポーツ少年団記録会への参加 4. 辻堂海浜公園駅伝大会 5. 辻堂砂山の家児童祭りへの参加 6. 地域清掃活動(社会貢献活動) 7. ピンクリボン運動への参加 8. A E D の常備(安全対策)	6月 6月 12月 2月 12月 4月~3月	各高校グランド 藤沢市 藤沢市 辻堂海浜公園 藤沢市 藤沢市	数名 約60名 約15名 約15名 数名 約250名	中学生約50名 幼児~小2 約150名 小5~6 約50名 約40名 約20名 約550名	1. 各高校ラグビー部のフェスティバルに参加 2. 近隣のラグビースクールを招いて、海岸での合同練習、地引綱大会を開催 3. 藤沢市スポーツ少年団の運動記録会へ参加 4. 辻堂海浜公園利用団体の子供達による駅伝大会に参加 5. 幼児への工作指導と焼きそば出店により、地域との交流を図る 6. 辻堂海浜公園周辺等の地域清掃活動を実施 7. ラグビージャージにピンクリボン運動のロゴマークを貼付 8. A E D を常備し、安全面の強化を図っている 150,000円

平成30年度 活動 予算書(案)

(自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)

特定非営利活動法人
藤沢ラグビー蹴球倶楽部

(単位:円)

科 目	金 額		備 考
I 経常収益			
1 受取会費・入会金			
正会員受取会費	2,200,000		
賛助会員(個人)受取会費	300,000		
賛助会員(団体)受取会費	70,000		
受取入会金	20,000	2,590,000	
2 事業収益			
ラグビースクール生徒会費収益	4,200,000		
スクール夏合宿開催参加費収益	7,300,000		
菅平ジャンボリー参加費収益	2,000,000		
卒業式参加費収入	500,000		
地域活動事業収益	30,000		
スポーツ吹矢会費等収入	54,000	14,084,000	
3 受取寄付金			
受取寄付金	200,000		
特別協賛金	914,000		
ラグビーグッズ受贈益	100,000	1,214,000	
4 その他収益			
受取利息	500		
雑収益	50,000	50,500	
経常収益計			17,938,500
II 経常費用			
1 事業費			
用具費	1,000,000		
グラウンド使用料	50,000		
スポーツ保険料	550,000		
旅費交通費	200,000		
夏合宿開催費用	7,600,000		
ジャンボリー開催費用	2,300,000		
対外試合費用	500,000		
トップチーム活動費	750,000		
チーム育成費	600,000		
コーチ育成費	400,000		
タッチ活動費	500,000		
スポーツ吹き矢活動費	54,000		
ラグビーフェスタ開催他地域交流費	250,000		
卒業式諸費	800,000		
事業費計		15,554,000	
2 管理費			
電力料	15,000		
借地料	452,000		
器具備品費	150,000		
旅費交通費	150,000		
通信運搬費	50,000		
事務消耗品費	450,000		
支払手数料	100,000		
広報活動費	300,000		
会議費	150,000		
慶弔・交際費	220,000		
雑費	47,500		
管理費計		2,084,500	
3 予備費	230,000	230,000	
経常費用計			17,868,500
税引前当期正味財産増減額			70,000
法人税、住民税及び事業税			70,000
当期正味財産増減額			0
前期繰越正味財産額			14,049,228
次期繰越正味財産額			14,049,228

定款変更の件

定款を下記新旧対照表のとおり、変更する。

定款変更 新旧対照表

(下線は変更部分を示します。)

変 更 案	現 行 定 款
<p>第 1 条 (現行どおり)</p> <p>(事務所)</p> <p>第 2 条 本会は、主たる事務所を神奈川県藤沢市におく。</p> <p>第 3 条～第 4 条 (現行どおり)</p> <p>(事業)</p> <p>第 5 条 本会は、第 3 条の目的を達成するため、次の<u>事業</u>を行う。</p> <p><u>(1) 特定非営利活動に係る事業</u></p> <p>①ジュニアラグビースクールの運営</p> <p>②ラグビークラブチームの育成・指導に係る事業</p> <p>③ラグビーフットボールおよびその他スポーツ競技の振興・普及に係る事業</p> <p>④他の競技団体との協力・交流による競技者の能力向上及び育成に係る事業</p> <p>⑤その他、<u>本会</u>の目的を達成するために必要な事業</p> <p><u>(2) その他の事業</u></p> <p>①物品販売業</p> <p>②請負業</p> <p><u>2 前項第 2 号に掲げる事業は、同項第 1 号に掲げる事業に支障がない限り行うものとし、利益を生じた場合は、同項第 1 号に掲げる事業に充てるものとする。</u></p> <p>第 6 条～第 1 2 条 (現行どおり)</p> <p>(種別及び定数)</p> <p>第 1 3 条 (現行どおり)</p>	<p>第 1 条 (条文省略)</p> <p>(事務所)</p> <p>第 2 条 本会は、主たる事務所を神奈川県藤沢市大庭 5 0 9 <u>5 番地の 3</u>におく。</p> <p>第 3 条～第 4 条 (条文省略)</p> <p>(事業)</p> <p>第 5 条 本会は、第 3 条の目的を達成するため、次の<u>特定非営利活動に係る事業</u>を行う。</p> <p><u>(1) ジュニアラグビースクールの運営</u></p> <p><u>(2) ラグビークラブチームの育成・指導に係る事業</u></p> <p><u>(3) ラグビーフットボールおよびその他スポーツ競技の振興・普及に係る事業</u></p> <p><u>(4) 他の競技団体との協力・交流による競技者の能力向上及び育成に係る事業</u></p> <p><u>(5) その他、第 3 条所定の目的を達成するために必要な事業</u></p> <p>(新 設)</p> <p>(新 設)</p> <p>第 6 条～第 1 2 条 (条文省略)</p> <p>(種別及び定数)</p> <p>第 1 3 条 本会には次の役員を置く。</p> <p>(1) 理事 9 名以上 1 3 名以内</p> <p>(2) 監事 2 名</p>

変 更 案	現 行 定 款
<p>2 理事のうち1名を理事長、<u>1名以上2名以内</u>を副理事長とする。</p> <p>3 <u>理事長及び副理事長以外の理事のうち3名以内を常務理事とすることができる。</u></p> <p>(任期)</p> <p>第14条 (現行どおり)</p> <p>2 <u>前項の規定にかかわらず、任期満了前に、就任後2事業年度が終了した後の総会において後任の役員が選任された場合には、当該総会が終結するまでを任期とし、また、任期満了後後任の役員が選任されていない場合には、任期の末日後最初の総会が終結するまでその任期を伸長する。</u></p> <p>3 補欠のため、又は増員によって就任した役員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。</p> <p>4 役員は、辞任又は任期満了後においても、<u>後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。</u></p> <p>(選任等)</p> <p>第15条 (現行どおり)</p> <p>2 <u>理事長、副理事長は理事の互選とする。</u></p> <p>3 <u>常務理事は理事長が必要と認める場合、理事の中から指名する。</u></p> <p>4 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者もしくは3親等以内の親族が一人を超えて含まれ、または当該役員並びにその配偶者及び3親等以内の親族が役員の総数の3分の1を超えて含まれるようになってはならない。</p> <p>5 監事は理事又は本会の職員をかねることはできない。</p> <p>(職務)</p> <p>第16条 <u>理事長、副理事長は代表理事とする。</u></p> <p>2 <u>理事長は本会の業務を総理する。</u></p> <p>3 副理事長は理事長を補佐し、理事長に事故あるときまたは理事長が欠けたときは、理事長があらかじめ指名した順序によって、その職務を執行する。</p> <p>4 <u>常務理事は、副理事長を補佐し、この法人の常務を掌理する。</u></p> <p>5 監事は次に掲げる職務を行う。</p> <p>(1) 理事の業務執行の状況を監査する。</p>	<p>2 理事の<u>内</u>1名を理事長、<u>1名</u>を副理事長、<u>1名</u>を専務理事とする。</p> <p>(新 設)</p> <p>(任期)</p> <p>第14条 役員の任期は2年とする。但し、再任を妨げない。</p> <p>(新 設)</p> <p>2 補欠のため、又は増員によって就任した役員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。</p> <p>3 役員は辞任又は任期満了後においても、<u>後任者の就任まではその職務を行う。</u></p> <p>(選任等)</p> <p>第15条 理事及び監事は総会において選任する。</p> <p>2 <u>理事長、副理事長、専務理事は理事の互選とする。</u></p> <p>(新 設)</p> <p>3 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者もしくは3親等以内の親族が一人を超えて含まれ、または当該役員並びにその配偶者及び3親等以内の親族が役員の総数の3分の1を超えて含まれるようになってはならない。</p> <p>4 監事は理事又は本会の職員をかねることはできない。</p> <p>(職務)</p> <p>第16条 <u>理事長は本会を代表し、業務を執行する。</u></p> <p>(新 設)</p> <p>2 副理事長は理事長を補佐し、理事長に事故あるときまたは理事長が欠けたときは、理事長があらかじめ指名した順序によって、その職務を代行する。</p> <p>3 <u>専務理事は、理事長、副理事長を補佐し、この法人の常務を掌理する。</u></p> <p>4 監事は次に掲げる職務を行う。</p> <p>(1) 理事の業務執行の状況を監査する。</p>

(下線は変更部分を示します。)

変 更 案	現 行 定 款
<p>(2) 本会財産の状況を監査する。</p> <p>(3) 前2号の規定による監査の結果、本会の業務又は財産に関し不正な行為又は法令若しくは定款に違反する重大なる事実があることを発見した場合には、これを総会又は所轄庁に報告する。</p> <p>(4) 前号の報告のため必要があれば総会を招集する。</p> <p>(5) 理事の業務執行状況又は本会の財産状況について理事に意見を述べ、若しくは理事会の招集を請求する。</p> <p>第17条～第24条 (現行どおり)</p> <p>(権能)</p> <p>第25条 総会は以下の事項について議決する。</p> <p>(1) 定款の変更</p> <p>(2) 解散</p> <p>(3) 合併</p> <p>(4) 事業計画及び活動予算に関する事項</p> <p>(5) 事業報告及び活動決算に関する事項</p> <p>(6) 役員を選任等に関する事項</p> <p>(7) 入会金、会費に関する事項</p> <p>(8) 長期借入金に関する事項</p> <p>(9) 組織に関する事項</p> <p>(10) その他本会の運営に関する重要事項</p> <p>第26条～第58条 (現行どおり)</p> <p>(公告の方法)</p> <p>第59条 本会の公告は本会掲示場に掲示するとともに官報に掲載して行う。<u>ただし、法第28条の2第1項に規定する貸借対照表に係る公告については、この法人のホームページに掲載して行う。</u></p> <p><u>附則</u></p> <p><u>この定款は、平成 年 月 日から施行する。</u></p>	<p>(2) 本会財産の状況を監査する。</p> <p>(3) 前2号の規定による監査の結果、本会の業務又は財産に関し不正な行為又は法令若しくは定款に違反する重大なる事実があることを発見した場合には、これを総会又は所轄庁に報告する。</p> <p>(4) 前号の報告のため必要があれば総会を招集する。</p> <p>(5) 理事の業務執行状況又は本会の財産状況について理事に意見を述べ、若しくは理事会の招集を請求する。</p> <p>第17条～第24条 (条文省略)</p> <p>(権能)</p> <p>第25条 総会は以下の事項について議決する。</p> <p>(1) 定款の変更</p> <p>(2) 解散</p> <p>(3) 合併</p> <p>(4) 事業計画及び収支予算に関する事項</p> <p>(5) 事業報告及び収支決算に関する事項</p> <p>(6) 役員を選任等に関する事項</p> <p>(7) 入会金、会費に関する事項</p> <p>(8) 長期借入金に関する事項</p> <p>(9) 組織に関する事項</p> <p>(10) その他本会の運営に関する重要事項</p> <p>第26条～第58条 (条文省略)</p> <p>(公告の方法)</p> <p>第59条 本会の公告は本会掲示場に掲示するとともに官報に掲載して行う。</p> <p>(新 設)</p>

(変更理由)

第2条

NPO法人の主たる事務所を、会員個人の自宅からクラブハウスへ変更いたします。ただし、定款に記載の住所は「藤沢市」とあれば事足りるので「藤沢市」までの記載にとどめております。

第5条

定款第3条所定の目的が本会の目的であることから、字句の修正を行うとともに、会員対象の共益的な事業や広告協賛を募ることが出来るようにするものであります。法令により「特定非営利活動による事業」と「その他の事業」を明確に分ける必要があります。

第14条

理事の任期を明確にするため変更するものであります。

第15条

役職理事の名称と選任の方法を変更するものであります。

第16条

代表理事が、長期海外出張など長期にわたり執務が困難な状況となった場合でも、業務が停滞することなく執行可能なように代表理事を複数置くため変更するものであります。

第25条

NPO法上の書類名称にあわせるため変更するものであります。

第59条

法改正に伴う貸借対照表の公告方法を追記するものであります。

添付資料

平成31年度事業計画書（案）

平成30年度、平成31年度活動予算書（案）

平成31年度事業計画書(案)

特定非営利活動法人 藤沢ラグビー蹴球倶楽部

1. 事業活動方針

総合型地域スポーツクラブとして、多くの人にラグビーフットボール等のスポーツに親しむ機会を提供し地域スポーツの振興と普及に寄与するとともに、地域社会貢献活動を積極的に推進する。また、クラブ会員の各活動をサポートするために、施設面の充実、資金面の強化策を具体的に推進する。

2. 事業内容

事業名	事業計画	実施日時	実施場所	従事実人数	受益対象者範囲と人数	事業概要及び支出費用
1. ジュニアラグビースクールの運営(定款第5条第1項第1号に係る事業)	1. 地域における4歳から18歳までの少年、少女を対象としたラグビーの技術的・精神的指導 2. 中学普平ジャポリー 3. 夏合宿練習 4. 秋田市ラグビー少年クラブとの交流 5. 湘南カップなど他スクールとの交流大会参加 6. 中学3年生卒業式 7. コーチ、レフェリー、メディカルサポート等指導監督者の育成プログラムへの参加 8. C級レフェリー資格試験	毎日曜日 小5以上は土曜日も実施 7月 8月 1月 4~3月 3月 随時 3月	辻堂海浜公園 秋葉台球技場 ほか 普平高原 山梨県 富士緑の休暇村 藤沢市 神奈川県内 藤沢市 神奈川県内	約70名 約10名 約50名 約10名 約70名 約70名 約70名 5名	4歳~15歳 約300名 中学生約70名 小3~中3 約200名 小4、小5、小6 約80名 幼児~中3 約300名 中3 25名 約70名	11,995,000円 入校式、卒業式費用、登録費、用具費、グラウンド使用料、スポーツ保険、普平ジャポリー・夏合宿費用等
2. ラグビークラブチームの育成・指導に係る事業(定款第5条第1項第2号に係る事業)	1. トップチームの育成指導 セブンス大会 神奈川県春季リーグ 団体関東ブロック 東日本トップクラブリーグ 2. タッチラグビーチームの育成指導 東京大会 全日本大会 第15回湘南大会 神奈川大会 全日本大会 静岡大会 3. シニアチームの育成指導 交流試合 4. 女子チームの育成指導 ガールズフェスティバル	毎日曜日 4月~3月 4月~7月 8月 秋 毎土曜日 6月 7月 7月 10月 11月 2月 隔週日曜日 9月~2月 11月	秋葉台球技場 ほか 近県 神奈川県内 近県 17都道県 辻堂海浜公園 東京都 近県 辻堂海浜公園 親水公園 近県 エコバスタジアム 秋葉台球技場 善行グラウンド ほか 埼玉県	約45名 約45名 約45名 数名 約45名 約40名 14名 14名 40名 14名 14名 14名 約25名 数名	約45名 約45名 数名 約45名 約40名 約200名 約300名 約100名 約150名 約300名 約300名 約25名 数名	3,055,000円 1. 登録費、用具費、スポーツ保険、大会参加費等 2. 登録費、用具費、スポーツ保険、大会参加費等 3. 藤沢マスターズ等に参加、他ラグビースクールのシニアチームとの合同合宿実施 4. 関東連盟主催の講習会やガールズフェスティバルに参加
3. ラグビーフットボールおよびその他のスポーツ競技の振興・普及に係る事業(定款第5条第1項第3号に係る事業)	1. 藤沢市ラグビーフェスティバルへの参加 2. 藤沢市民大会 3. ラグビーフェスティバルの 4. ラグビースクール交歓運動 5. はじめてのラグビー一斉体験会 6. タッチチーム 7. スポーツ吹矢 8. 倶楽部広報紙の発行(広報・普及活動) 9. HPの運営(広報・普及活動) 10. 中学3年生卒業文集作成(広報・普及活動) 11. 新種目	6月 9月 3月 12月 4月 3月 4月~3月 7月、1月 倶楽部事務所 3月 4月~3月	秋葉台球技場 秋葉台球技場 辻堂海浜公園 横浜スタジアム 秋葉台球技場 フットメッセ長町 砂山市民の家 倶楽部事務所 倶楽部事務所 倶楽部事務所 藤沢市	約70名 約70名 約70名 約70名 約70名 1名 約15名 数名 1名 数名 数名	約290名 約290名 約500名 約290名 約250名 約150名 約15名 会員、生徒、OB 会員、一般 会員、生徒 数名	1,170,000円 1. ラグビースクール生徒が参加 2. ラグビースクール生徒、湘南PBが参加 3. ラグビーフェスティバルを開催し、スクール以外の子供達も含め地域 4. 県下全ラグビースクールが参加 5. 県下ラグビースクールによる子供向けラグビー体験会を開催 6. タッチ普及の一環でタッチ教室を開催の講師 7. 7月4日開催 8. 広報紙を2回発行(管理費) 9. 練習予定日等をアップ(管理費) 10. 中学3年生および父母、指導員で卒業文集を作成 11. 新種目立ち上げ
4. 他の競技団体との協力・交流による競技者の能力向上及び育成に係る事業(定款第5条第1項第4号に係る事業)	1. 高校ラグビー部フェスティバルへの参加 2. ミルキークラス地引綱 3. 藤沢市スポーツ少年団記録会への参加 4. 辻堂海浜公園駅伝大会 5. 辻堂砂山の家児童祭りへの参加 6. 地域清掃活動(社会貢献活動) 7. ピンクリボン運動への参加 8. AEDの常備(安全対策)	6月 6月 12月 2月 12月 4月~3月	各高校グラウンド 藤沢市 藤沢市 辻堂海浜公園 藤沢市 藤沢市	数名 約60名 約15名 約15名 数名 約250名	中学生約50名 幼児~小2 約150名 小5~6 約50名 約40名 約20名 約550名	150,000円 1. 各高校ラグビー部のフェスティバルに参加 2. 近隣のラグビースクールを招いて、海岸での合同練習、地引綱大会を開催 3. 藤沢市スポーツ少年団の運動記録会へ参加 4. 辻堂海浜公園利用団体の子供達による駅伝大会に参加 5. 幼児への工作指導と焼きそば出店により、地域との交流を図る 6. 辻堂海浜公園周辺等の地域清掃活動を実施 7. ラグビージャージにピンクリボン運動のロゴマークを貼付 8. AEDを常備し、安全面の強化を図っている
5. その他の事業 物品販売及び請負業(定款第5条第2項に係る事業)	1. 物品販売業 2. 請負業(広告)	通年 通年	藤沢市 神奈川県内	約300名 数名	会員、生徒、OB、一般 会員、一般	920,000円 1. スカーフ創設50周年記念事業の一環として、倶楽部グッズの製作 2. 広告協賛契約等により、協力企業の支援をPRする費用

平成30年度・31年度活動予算(案)

特定非営利活動法人 藤沢ラグビー蹴球倶楽部

(単位:円)

科 目	平成30年度予算案			平成31年度予算案			備考
	特定非営利活動	その他の活動	合計	特定非営利活動	その他の活動	合計	
I 経常収益							
1 受取会費・入会金							
正会員受取会費	2,200,000	-	2,200,000	2,200,000	-	2,200,000	
賛助会員(個人)受取会費	300,000	-	300,000	300,000	-	300,000	
賛助会員(団体)受取会費	70,000	-	70,000	70,000	-	70,000	
受取入会金	20,000	-	20,000	20,000	-	20,000	
計	2,590,000	-	2,590,000	2,590,000	-	2,590,000	
2 事業収益							
ラグビースクール生徒会費収益	4,200,000	-	4,200,000	4,200,000	-	4,200,000	
スクール夏合宿開催参加費収益	7,300,000	-	7,300,000	7,300,000	-	7,300,000	
菅平ジャンボリー参加費収益	2,000,000	-	2,000,000	2,000,000	-	2,000,000	
卒業式参加費等収入	500,000	-	500,000	500,000	-	500,000	
スポーツ吹き矢会費収益	54,000	-	54,000	54,000	-	54,000	
地域活動事業収益	30,000	-	30,000	30,000	-	30,000	
広告協賛収入	-	-	0	0	864,000	864,000	
物品販売収入	-	-	0	0	900,000	900,000	
計	14,084,000	-	14,084,000	14,084,000	1,764,000	15,848,000	
3 受取寄付金							
受取寄付金	200,000	-	200,000	200,000	-	200,000	
特別協賛金	914,000	-	914,000	914,000	-	914,000	
ラグビーグッズ受贈益	100,000	-	100,000	100,000	-	100,000	
計	1,214,000	-	1,214,000	1,214,000	-	1,214,000	
4 その他収益							
受取利息	500	-	500	500	-	500	
貯蔵品処分益	0	-	0	0	-	0	
雑収益	50,000	-	50,000	50,000	-	50,000	
計	50,500	-	50,500	50,500	-	50,500	
経常収益計	17,938,500	-	17,938,500	17,938,500	1,764,000	19,702,500	
II 経常費用							
1 事業費							
用具費	1,000,000	-	1,000,000	1,100,000	-	1,100,000	
グラウンド使用料	50,000	-	50,000	50,000	-	50,000	
スポーツ保険料	550,000	-	550,000	550,000	-	550,000	
旅費交通費	200,000	-	200,000	200,000	-	200,000	
夏合宿開催費用	7,600,000	-	7,600,000	7,600,000	-	7,600,000	
ジャンボリー開催費用	2,300,000	-	2,300,000	2,300,000	-	2,300,000	
対外試合費用	500,000	-	500,000	500,000	-	500,000	
トップチーム活動費	750,000	-	750,000	750,000	-	750,000	
チーム育成費	600,000	-	600,000	600,000	-	600,000	
コーチ育成費	400,000	-	400,000	400,000	-	400,000	
タッチ活動費	500,000	-	500,000	400,000	-	400,000	
スポーツ吹き矢活動費	54,000	-	54,000	54,000	-	54,000	
ラグビーフェスタ開催他地域交流	250,000	-	250,000	250,000	-	250,000	
卒業式諸費	800,000	-	800,000	800,000	-	800,000	
新規種目活動費	-	-	-	516,000	-	516,000	
販売用物品制作費	-	-	-	-	720,000	720,000	
事業費計	15,554,000	-	15,554,000	16,070,000	720,000	16,790,000	
2 管理費							
電力料	15,000	-	15,000	15,000	-	15,000	
借地料	452,000	-	452,000	452,000	-	452,000	
器具備品費	150,000	-	150,000	150,000	-	150,000	
修繕費	0	-	0	0	-	0	
旅費交通費	150,000	-	150,000	150,000	-	150,000	
通信運搬費	50,000	-	50,000	50,000	-	50,000	
事務消耗品費	450,000	-	450,000	450,000	-	450,000	
支払手数料	100,000	-	100,000	100,000	-	100,000	
広報活動費	300,000	-	300,000	300,000	200,000	500,000	
会議費	150,000	-	150,000	150,000	-	150,000	
慶弔・交際費	220,000	-	220,000	220,000	-	220,000	
雑費	47,500	-	47,500	47,500	-	47,500	
管理費計	2,084,500	-	2,084,500	2,084,500	200,000	2,284,500	
2 予備費	230,000	-	230,000	300,000	-	300,000	
経常費用計	17,868,500	-	17,868,500	18,454,500	920,000	19,374,500	
経理区分振替額	-	-	-	516,000	▲ 516,000	0	
税引前当期正味財産増減額	70,000	-	70,000	0	328,000	328,000	
法人税、住民税及び事業税	70,000	-	70,000	0	328,000	328,000	
当期正味財産増減額	0	-	0	0	0	0	
前期繰越正味財産額	14,049,228	-	14,049,228	14,049,228	0	14,049,228	
次期繰越正味財産額	14,049,228	-	14,049,228	14,049,228	0	14,049,228	